



イーソル株式会社 2025年12月期 第3四半期決算説明資料

2025年11月14日



Agenda

1. 2025年12月期 第3四半期決算概要
2. 最近のプレスおよびお知らせから
3. 参考資料

2025年12月期 第3四半期決算概要

今期計画の概要（2025年2月14日発表）

- 組込みソフトウェア事業のエンジニアリングサービスを中心に増収の計画
- 利益は2024年の持分法適用関連会社(オーバス社)の解消に伴う未実現利益等の一時的な会計処理がなくなることで減少するものの、通常事業領域においては実質的な成長が継続

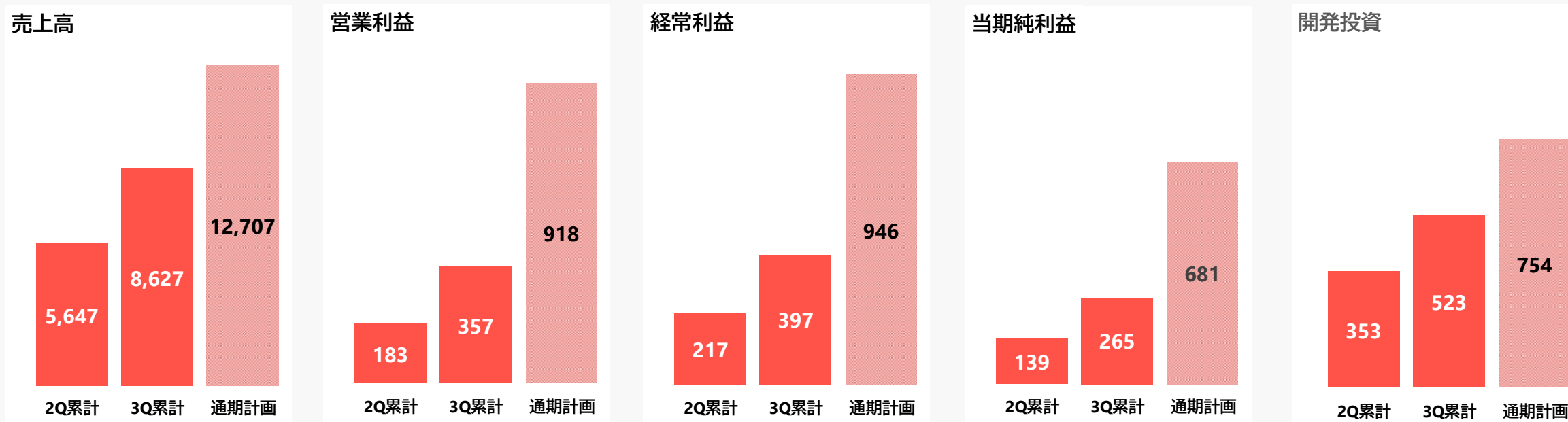
(百万円)

	2024年	2025年 (計画)	増減	増減率	上期	下期
売上高	11,908	12,707	+799	+6.7%	5,785	6,921
営業利益	1,113	918	▲194	▲17.5%	214	703
経常利益	1,163	946	▲217	▲18.7%	230	716
当期純利益	892	681	▲210	▲23.6%	177	503

決算の概要(計画値の進捗)

売上高に関しては、おおよそ計画に沿った進捗となっています。利益に関しては、今期の計画上、研究開発費が上期偏重であること、また組込みソフトウェア事業において、一部採算が低い案件が発生したため、通期計画に対して、3Q時点での進捗率は低めとなっています。

※なお、10月1日付けで完全子会社化した、京都マイクロコンピュータ社の業績が期末決算に取り込まれる予定です。



決算の概要(前年同期比)

エンジニアリングサービスが大きく伸長したことにより、前期の一時的利益要因(ライセンス収入と未実現利益)分をほぼカバーして、前期特殊要因を差し引けば実質的に大幅増収となりました。

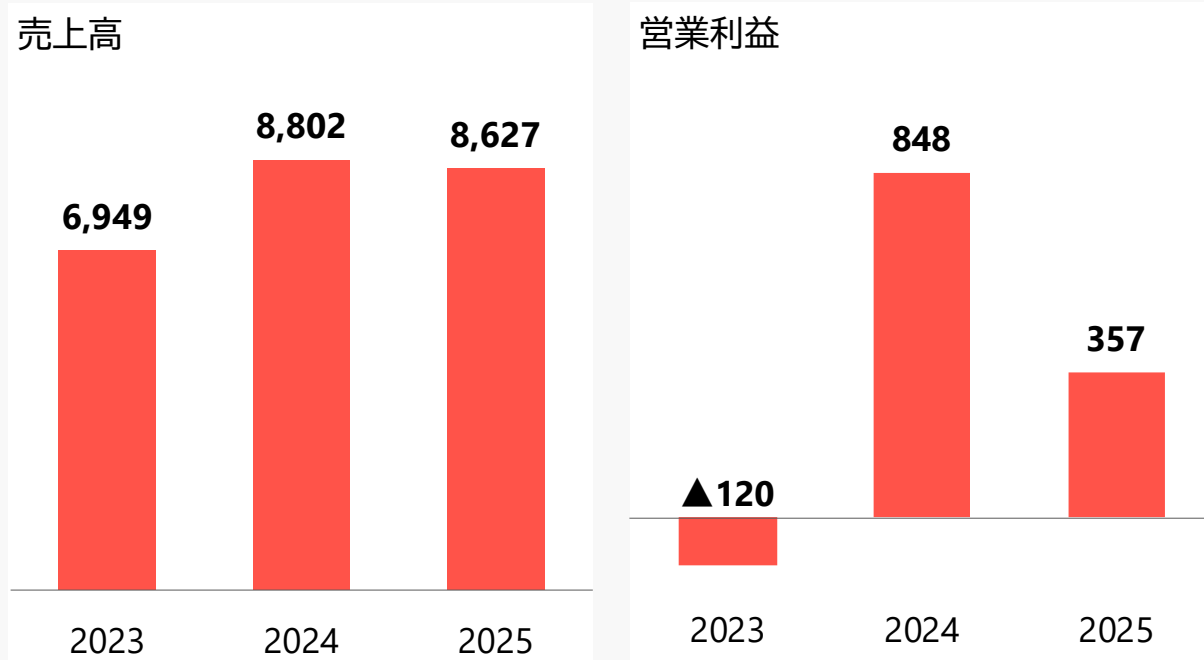
(百万円)				
	2024年 第3四半期	2025年 第3四半期	増減額	増減率
売上高	8,802	8,627	▲175	▲2.0%
売上原価	5,457	6,141	+684	+12.5%
リビジョンアップ	405	201	▲204	▲50.4%
売上総利益	3,344	2,485	▲859	▲25.7%
販売費及び一般管理費	2,496	2,128	▲368	▲14.8%
研究開発費	725	322	▲403	▲55.6%
営業利益	848	357	▲491	▲57.9%
経常利益	892	397	▲495	▲55.5%
当期純利益	674	265	▲409	▲60.7%

<売上高> (百万円)				
セグメント別	2024年 第3四半期	2025年 第3四半期	増減額	増減率
組込みソフトウェア事業	8,230	8,240	+10	+0.1%
組込みソフトウェア製品	1,898	1,074	▲824	▲43.4%
エンジニアリングサービス	6,331	7,166	+834	+13.2%
センシングソリューション事業	409	386	▲23	▲5.7%
連結調整	162	-	▲162	-

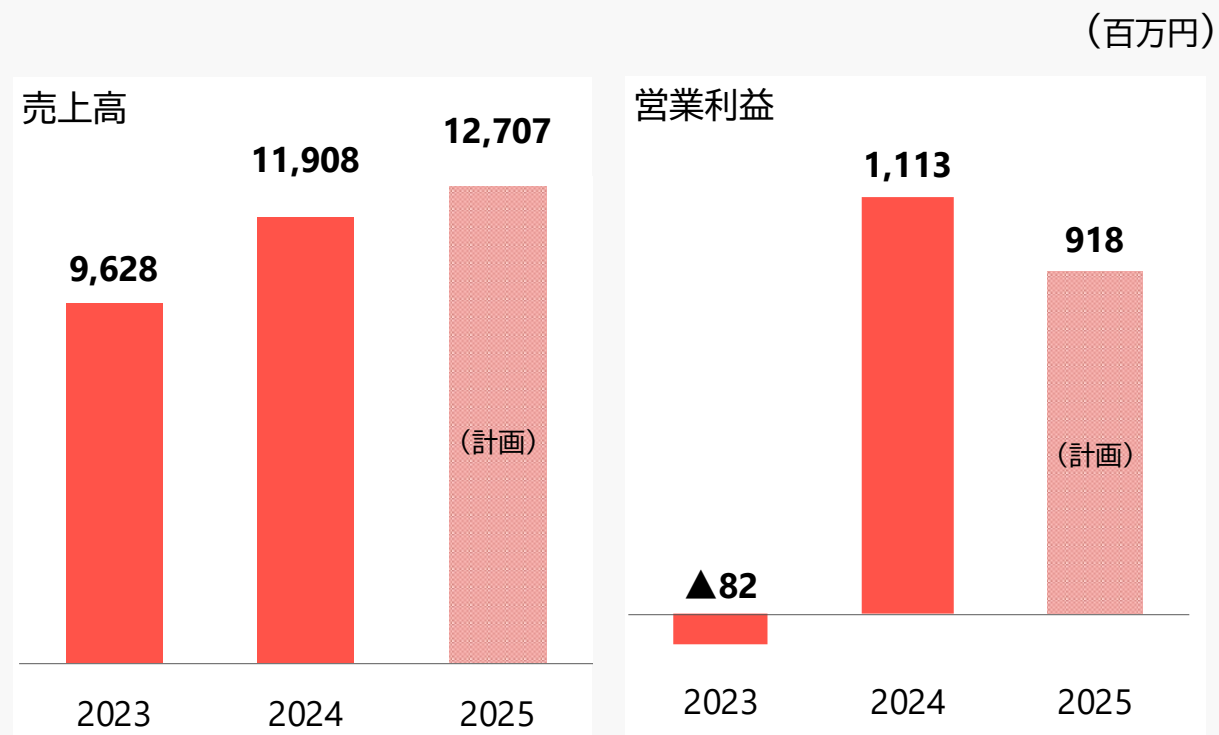
<営業利益> (百万円)				
セグメント別	2024年 第3四半期	2025年 第3四半期	増減額	増減率
組込みソフトウェア事業	674	374	▲300	▲44.5%
センシングソリューション事業	5	▲17	▲22	-
連結調整	168	-	▲168	-

決算の概要(業績の推移)

2期連続の安定的な黒字を確保



3Q



通期

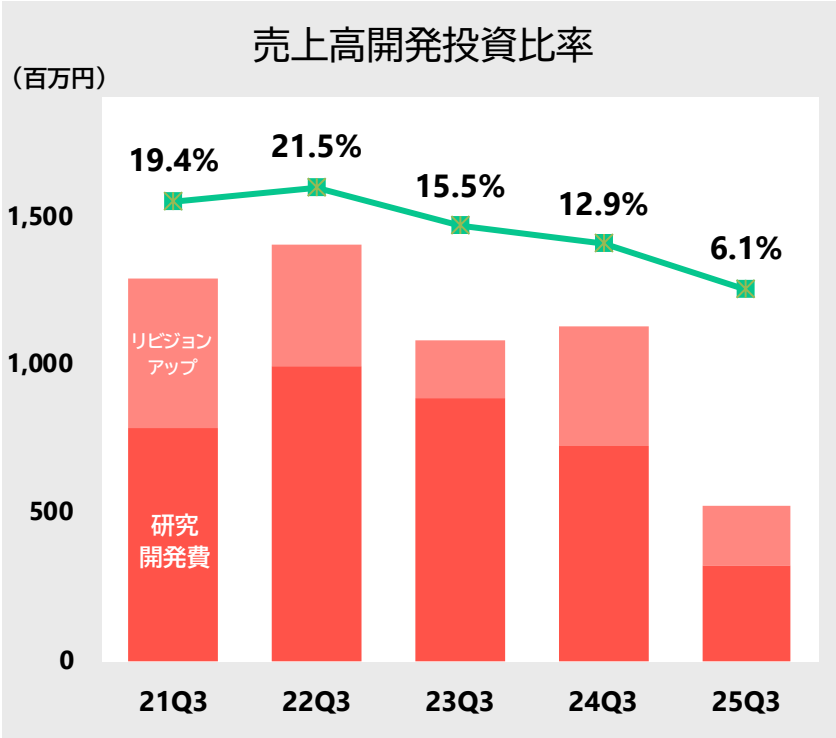
開発投資の状況(前年同期比)

今期は戦略的なパートナーであるユーザーからのファンディング的エンジニアリングサービスの増加により、開発投資額は削減するが、実質的な製品力の向上を継続

(百万円)

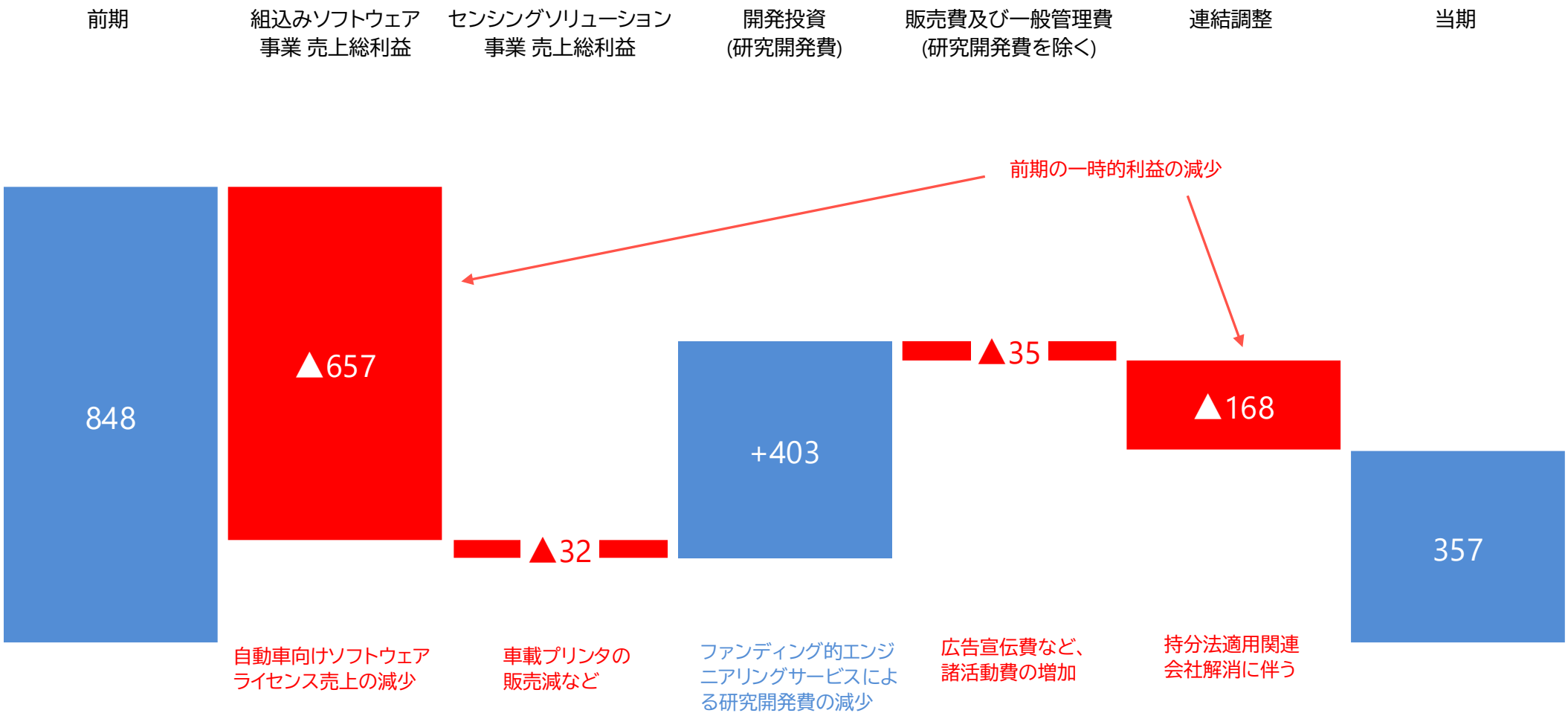
	2024年 第3四半期	2025年 第3四半期	増減額	増減率
売上高	8,802	8,627	▲175	▲2.0%
開発投資額	1,131	523	▲607	▲53.7%
研究開発費	725	322	▲403	▲55.6%
リビジョンアップ	405	201	▲204	▲50.4%
売上高開発投資比率	12.9%	6.1%	-	-

研究開発費	- 新規製品の開発に対する投資 - 販売費に計上
リビジョンアップ	- 既存製品のバージョンアップに対する投資 - 売上原価に計上



営業利益の増減要因(前年同期比)

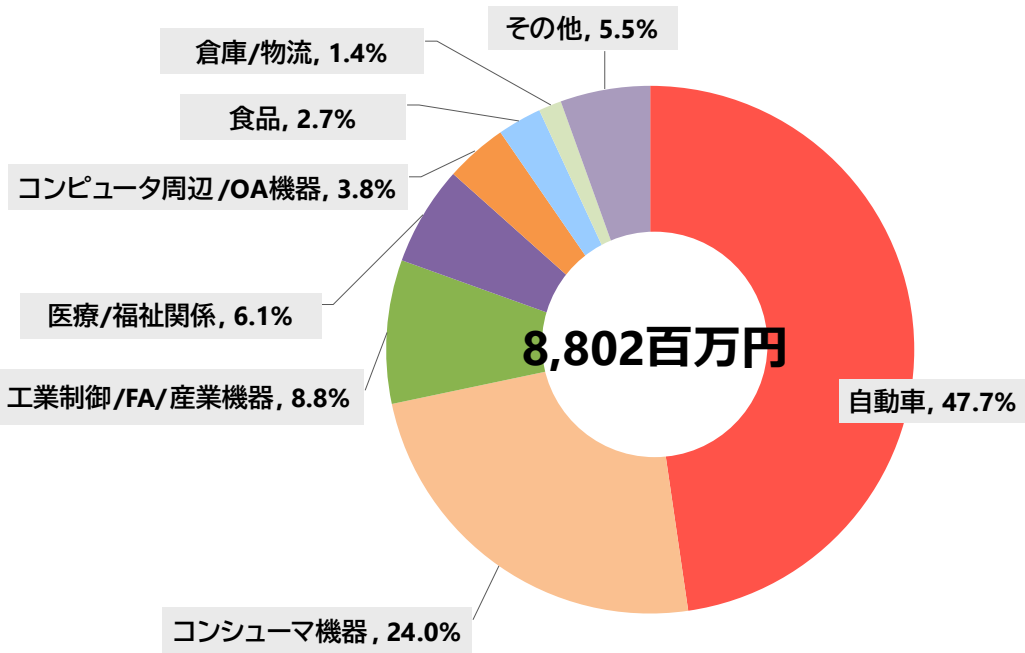
(百万円)



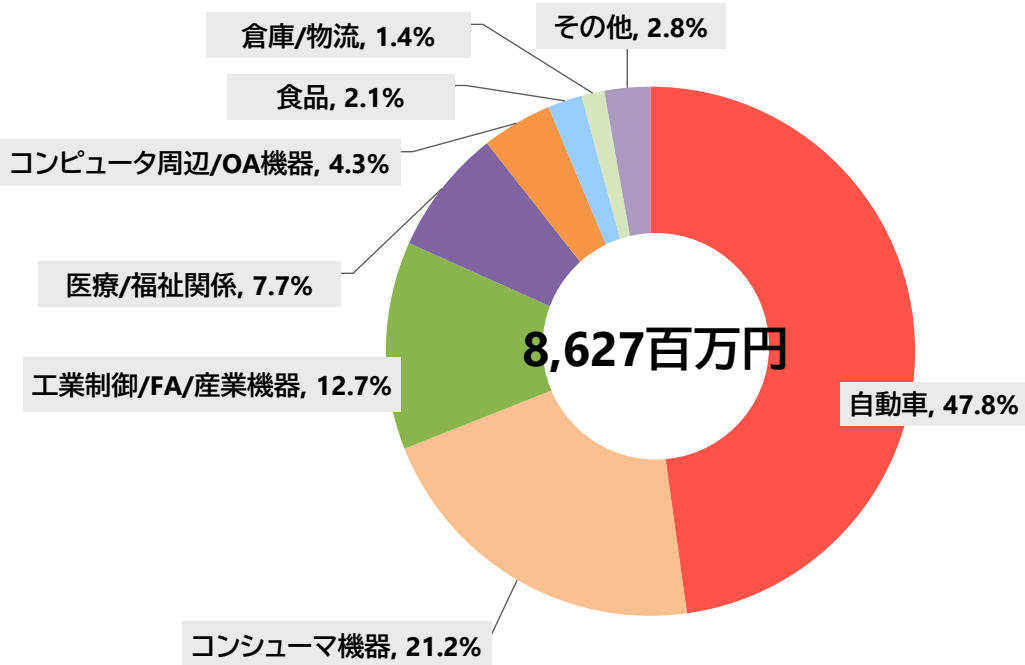
得意先セクター別の売上割合(前年同期比)

安定的に自動車セクター約50%、残り50%を幅広いセクターで構成

当社技術は幅広いセクターで使用されています。
主要取引先は、当社サイトをご覧ください。
<https://www.esol.co.jp/company/profile.html>



2024年 第3四半期



2025年 第3四半期

株主還元

当面は従来方針を継続しますが、本年4月30日公表の中期経営計画にそって、見直しを検討中

- 本年度の配当政策としては財務基盤の安定化、安定的配当、内部留保による企業価値向上施策への投資を基本とする
- 配当額は前年度同額を計画
- 投資の効果を踏まえ、将来的に配当を強化

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1株当たり配当金	5.50円	5.50円	5.50円	5.50円	5.50円
(うち中間配当金)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	55.8%	-	82.1%	12.0%	15.3%

計画

最近のプレスおよびお知らせから

ラジオNIKKEI 出演

ラジオNIKKEIが放送する下記番組に、当社代表取締役社長CEO兼CTO 権藤 正樹が出演いたしました。

- メディア: ラジオNIKKEI 第1
- 番組名: PRONEXUS presents 朝イチマーケットスクエア アサザイ
- 放送日: 2025年9月3日(水) 朝8:30～8:50

放送内容は、「ラジコタイムフリー」や「ポッドキャスト」からお聞きいただけます。

詳しくは番組ウェブサイトよりご確認ください。

「アサザイ」番組ウェブサイトURL: <http://www.radionikkei.jp/asazai/>

自動車向け機能安全規格 ISO 26262 に準拠したASIL Dの認証を取得

2025年 9月 9日発表

主力OS製品「eMCOS POSIX ver3.0」がSGS-TÜV Saarから、自動車向け機能安全規格ISO 26262:2018 ASIL Dの認証を受けました。

ASIL : Automotive Safety Integrity Level

SGS-TÜV Saarは、自動車の機能安全やサイバーセキュリティの分野に特に強みをもつ、世界的なドイツの認証機関で、ASILの“D”は、A～Dランクの最高位です。



参考資料

私たちは世界の人々のための
サイバーフィジカル社会を実現する
ワールドクラスの
フルスタックエンジニアリング企業です。

中期経営計画 eSOL Reborn 2030 - Strategic Business Plan

2025年 4月30日発表

- 目標実現のための11の戦略（Core Strategies）を設定
- 2030年までの財務目標を設定
- 投資の効果を踏まえ、段階的に配当を強化



発表説明資料 → <https://ssl4.eir-parts.net/doc/4420/tdnet/2600567/00.pdf>

説明会動画配信 → https://www.bridge-salon.jp/streaming/movie/4420_20250430.html

Top message

■ 世界のサイバーフィジカル社会をFull Stack Engineeringで実現する新時代のOSベンダー

eSOLは、1975年の設立以来、産業機器、医療機器、デジタル家電、航空宇宙、そして車載機器と多くの組込みシステムのソフトウェア開発で実績を重ねてまいりました。

当社の大きな強みの一つはOS技術です。独自OSであるeMCOSは世界でも最も進んだマルチカーネルやユニカーネルというOS技術を導入しています。また、その知見を活かし、特定顧客向けのプラットフォーム開発も数多く手がけてまいりました。また、AUTOSARやROSなどの業界標準技術の仕様策定活動への参画と併せ、関連する技術を用いたプラットフォーム開発も多数行っています。これらの実績と技術知見は、昨今のSDxIによるモノづくりに必要不可欠な要素であり、OSからアプリケーションまでのフルスタックの技術知見は当社の大きなアドバンテージです。特に、その先端を行くSDVの開発において、当社には大きな期待が寄せられています。

近年、ネットワーク技術、クラウドコンピューティングの普及、さらにはAI技術の進化により、サイバー空間がさらに進化しつつあります。コンピューティング技術がより社会に貢献するには、サイバーの空間をフィジカルな物理の空間と融合していくことが必要です。このフィジカルの空間のコンピューティングは、従来、組込みシステムと呼ばれた領域であり、近年ではIoT、エッジなどの言葉も使われますが、eSOLが長年技術を蓄積して来た技術領域です。

このサイバーとフィジカルを繋いだサイバーフィジカルシステム(CPS)による新しい社会の実現に向け、eSOLはFull Stack Engineeringを提供する新時代のOSベンダーとして、モノづくりを行う世界のメーカー様を支え、社会の持続的な発展に貢献してまいります。



おかげさまで、eSOLは今年創業50周年を迎えます。
Full Stack Engineeringを提供する新時代のOSベンダーとして、
社会の持続的な発展に貢献してまいります。



代表取締役社長CEO兼CTO
権藤 正樹

Mission

私たちは、革新的なコンピュータテクノロジーによって、市場を創造し、社会を豊かにすることを使命とします。

Vision

私たちは、ワールドクラスのフルスタックエンジニアリング企業として世界の人々のためのサイバーフィジカル社会を実現します。

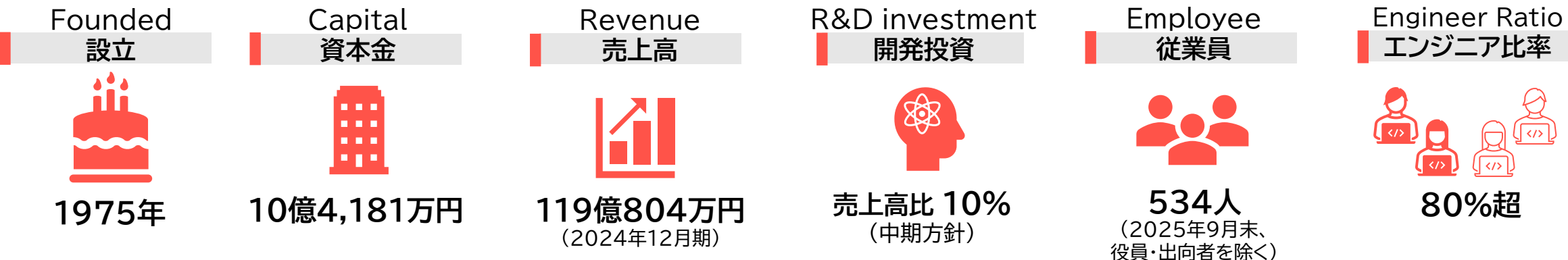
Value

ワールドクラスのフルスタックエンジニアリング技術

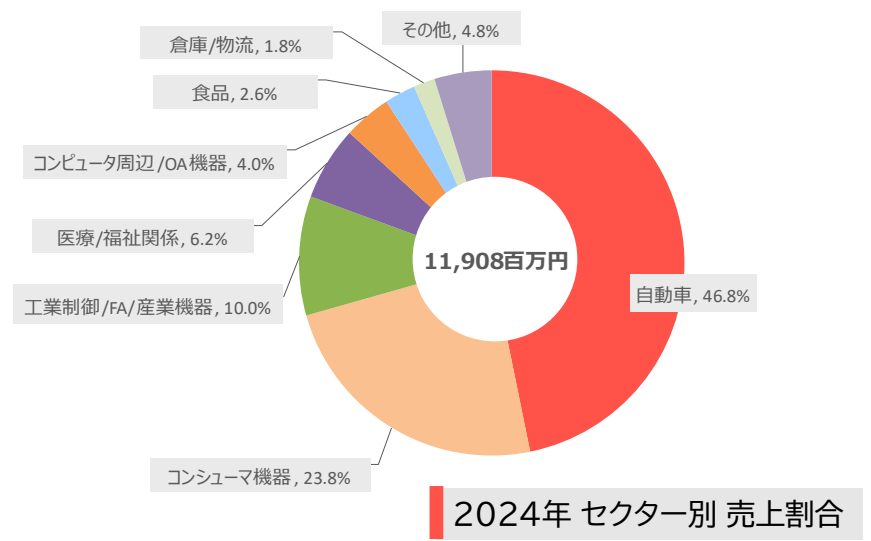
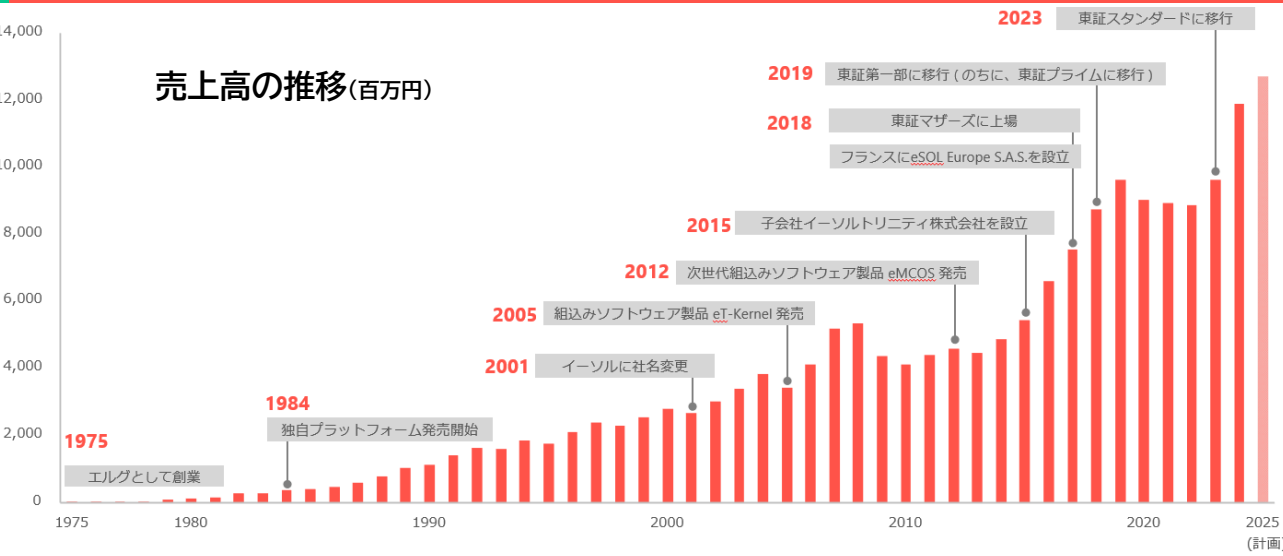


Company Overview

■ 1975年に創業し、変化の激しいソフトウェア業界で持続的に成長



東証スタンダード(証券コード: 4420)



eSOL Group

■ eSOLグループでお客様のシステム開発を包括的に支援



《国内拠点》

イーソル株式会社 (95%*)



(eSOL Co.,Ltd.)

設立：1975年 5月

事業拠点：東京本社、大阪、名古屋、さいたま

イーソルトリニティ株式会社 (3%*)



(eSOL TRINITY Co.,Ltd.)

設立：2015年 3月

事業拠点：東京本社

事業内容：ハイエンド組込み機器開発支援ツール販売、コンサルテーション、
プロフェッショナルサービス、エンジニア教育

New

京都マイクロコンピュータ株式会社 (2025/10/1～)



(Kyoto Microcomputer Co.,Ltd.)

設立：1985年4月

事業拠点：京都本社、東京

事業内容：開発環境を中心とした、コンピュータ、ソフトウェア及びハードウェア開発、販売

《海外拠点》

eSOL Europe S.A.S (2%*)

設立：2018年 3月

事業拠点：フランス パリ本社

事業内容：欧州における顧客の技術開発、技術支援、マーケティング、サポート



本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

WEB : <https://www.esol.co.jp/>



Challenge with Passion